

井下 佳織ゼミナール【経済-22クラス】

【題目】 アスレティックトレーニング・スポーツのコーチングデザイン

【到達目標】

スポーツ医科学的観点から現代社会を支える仕組みを実践的な活動を通じて学ぶ。専門知識・技術に加え、社会マナーや人間性を高める教養を修得し、さらにコミュニケーション能力、考える力など実践的スキルを身につけ、21世紀の新時代に貢献し得るスポーツ実践者、コーチ、指導者、振興者の養成をめざす。

【講義内容】

幅広い世代で人気上昇中のスポーツ業界を知り、そして健康・スポーツ医科学情報技術の活用を考える。
また、健康・体力と傷害予防、スポーツパフォーマンス、スポーツビジネスなど現代が抱える諸問題も学ぶ。
スポーツ現場に必要な人体の基礎知識、スポーツのケガについての知識や応急手当て、競技力向上・健康増進のためのコンディショニング、トレーニング方法なども学習する。

【準備学習の内容】 スポーツ・健康に関連する記事、著書を読み理解を深める。

【授業計画】

- 1回 現代のスポーツ・健康に関する課題を洞察
- 2回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題を洞察
- 3回 現代のスポーツ・健康に関する課題解決策の検証
- 4回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策の検証
- 5回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策のプレゼンテーション
- 6回 現代のスポーツ・健康に関する課題解決策を計画
- 7回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策を計画
- 8回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策の計画のプレゼンテーション
- 9回 現代のスポーツ・健康に関する課題解決計画の実行
- 10回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決計画の実行
- 11回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決実行のプレゼンテーション
- 12回 現代のスポーツ・健康に関する課題解決の実践活動の成果を評価・検証
- 13回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決の実践活動の成果を評価・検証
- 14回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策の実践活動の成果を評価・検証
- 15回 各自関心のあるスポーツ・健康に関する課題解決策の実践活動をプレゼンテーション

【教科書】 なし

【参考文献】 適宜資料を活用する

【評価方法】 出席状況、各自の関心のあるテーマに対する進行状況、プレゼンテーション内容により評価する。

【履修の条件】 スポーツ・健康に関心のある人

【聴講生・科目等履修生受入】 否

【他学科生・他専攻生受入】 否

【他学部生受入】 否

【当該科目に関連する開設科目】

「スポーツ指導者論」「健康科学」「救急処置」「スポーツコンディショニング実習」「スポーツ解剖学」「スポーツ生理学」「スポーツと社会」「バイオメカニクス」「コーチング」「スポーツの理論と実習」「レクリエーション技術演習」など

【使用言語】 日本語

【担当者からの一言】 実践能力を身につけ、将来に真に役立つ大学生生活をデザインしましょう。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	◎
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自信を生み出す力	◎